

海外ビジネス情報

バンコク



True Digital Parkについて

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
トレーニー 盛田 尚暉

1. はじめに

タイでは「Thailand4.0^{※1}」という政策を政府が掲げています。タイ経済は製造業の集積地ASEANで貿易自由化を背景に一定規模にまで発展したものの、その後成長率が停滞し「中所得国の罠」に直面したため、産業の高度化を目標として本政策が推進されました。

ターゲット産業12分野の中でも「新Sカーブ産業^{※2}」と呼ばれる「デジタル」、「自動システム・ロボット」等の分野が重点投資誘致分野として位置づけられており、海外企業の誘致に向けた様々な戦略が行われています。

今回はその中で、デジタル経済を推進してタイを東南アジアのデジタルハブにすることを目的とした「True Digital Park (TDPK)」というアジア最大級のデジタルイノベーションハブについて紹介したいと思います。

2. TDPKについて

TDPKは、タイの大財閥CPグループの大手通信企業「トゥルーコーポレーション」によってバンコクの中心部に建設されました。2019年に東棟、2022年には西棟がオープンし、2棟からなる巨大なスマートシティ型複合施設となっています。

館内施設は、スタートアップ向けのコワーキングオフィスや各種イベントスペース、グーグル等のハイテク大手が入居する技術革新スペースなど多岐に渡るほか、テナントには5,800以上の企業や団体が入居しています。

タイのイノベーションハブとして、デジタルを通して人や企業の多様な交流を促進し、持続可能で豊かな生活を作り上げることを目指しています。



【True Digital Park外観(筆者撮影)】

※1 2015年に策定された20年に及ぶ長期ビジョン政策。2036年までの高所得国入りを目標としており、インフラ開発を促進しターゲット産業への投資を拡大することで、持続的な経済成長を目指す。①次世代自動車、②スマートエレクトロニクス、③医療・健康ツーリズム、④農業・バイオテクノロジー、⑤未来食品、⑥自動システム・ロボット産業、⑦航空宇宙、⑧バイオ燃料・バイオ化学、⑨デジタル産業、⑩医療ハブ、⑪防衛、⑫教育・人材開発 の12分野が具体的なターゲット産業となっている。

※2 将来に向けて競争力の強化を図るべき新規産業7分野（上記⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫）。

Sカーブとは、ある産業が幼稚産業の段階から発展期を迎え、徐々に成熟していく様子をアルファベットのS字になぞらえている。

3. エコシステムツアー

施設設備、体験センター、イベントスペース等をガイド付きで見学することができる「エコシステムツアー」を開催しています（使用言語：英語・タイ語）。費用は、オプションや参加人数等の条件により異なりますが、2時間のコースで1万6,000パーツ～2万6,000パーツ（7万2,000円～11万7,000円※）となっています。

（※1パーツ=4.5円換算）



【館内施設(筆者撮影)】

<ツアー先の例>

	見学先	内容
西棟	True IDC Experience Center	様々なスマートデバイスやインタラクティブな画面表示を通した、タイをリードするクラウドサービスとデータセンタープロバイダーの紹介
	IONIQ Lab By Hyundai	韓国現代自動車初の電気自動車「IONIQ」の展示
	LG Business Innovation Center	韓国LGグループの革新的で高品質な商業ディスプレイのショールーム
	TDPK Studio	タイの新進アーティストのサポートを目的としたアートギャラリー
東棟	CP Innovation For Sustainability Center	タイの大手財閥CPグループの100年の歩みと将来を紹介
	Ricoh Experience Center	「リコー」が提供するデジタル技術を使った職場環境のプロモーション体験
	TDPK Co-Working Space	スタートアップ企業向けコワーキングスペース
	TMX Experience Center	アジア太平洋地域において、サプライチェーンや物流のリーディングコンサルタント企業のVRを用いたサービス紹介
	Future Tales Lab By MQDC	生命、テクノロジー、ロボティクス、宇宙探索などの未来にフォーカスした研究展示

4. おわりに

TDPKはタイを含め、アジア全体のデジタルイノベーションをけん引する重要な役割を担っています。多様多種の起業家や企業等がグローバル市場で競争し、社会全体の発展にどのような影響を与えていくのか注目して参ります。

<ご注意>

文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
（株）人材情報センター内
TEL: (076) 254-6500 FAX: (076) 254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp